

# あげお 学びのイノベーション

## 2nd GIGA

学びのイノベーション  
次のステージへ...



上尾市は、G I G Aスクール構想により  
今までの教育実践×最先端のICTで  
新たな学びを創造し続けます！

### G I G Aスクール構想とは

G I G Aとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、Society5.0時代に生きる子供たちの未来を見据え、一人一台分のコンピュータ端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する取組です。令和元年12月に文部科学省から打ち出されました。



### 上尾市小・中学校の充実したICT環境

#### 学習プラットフォーム

Google Workspace for Education Fundamentals

まなびポケット

Wi-Fi

校内無線LAN・高速ネットワーク  
(各教室・特別教室・体育館)

電子黒板  
大型モニタ

授業支援システム  
「スクールタクト」

情報活用能力育成教材  
「事例で学ぶ Net モラル」

事例で学ぶ  
Netモラル

協働学習支援ツール「コラボノート EX」(小学校)

コラボ  
EX

デジタル採点  
システム(中学校)

AI型ドリル教材  
「ラインズ e ライブラリ」  
(中学校)

ラインズ  
eライブラリ

chromebook

Windows 端末

※中学校は無し  
小学校は今年度まで

ICT端末(学習者用・教師用)

指導者用デジタル  
教科書

学校メール  
配信システム

さくら  
連絡網

学校ICT支援員の学校派遣(週に1回)

校務支援  
システム

遠隔学習用機器  
(マイク付きカメラ各校11台)



Web会議システム等を活用し、同時  
双方向型の学習等に活用できます。

3Dプリンター(中学校)  
多様なプログラミング教材



家庭用貸出  
モバイルルーター



# 2<sup>nd</sup>GIGA 新たな学びの創造へ



多様なICT環境で、授業等における  
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図ります

## 小・中学校共通 のICT支援ツール

※一部抜粋

### 協働学習・自己調整学習等でスクールタクト

- ☆特徴⇒ 教師が動く教材を作成することができます。教師が児童生徒の学習を把握したり、児童生徒が互いの考えを共有し学び合ったりすることができます。
- ☆機能⇒ 「協働学習支援」「自己調整学習支援」「ログ分析」
  - ・リアルタイムでの学習状況の把握
  - ・投票機能
  - ・ワンタッチで「ワードクラウド」
  - ・豊富な課題テンプレート
  - ・思考ツール 等



### 事例で学ぶ Netモラル



- ☆特徴⇒ 「いつでも、どこでも、だれでも、情報モラル教育を！」をコンセプトにした情報モラル教材であり、豊富な事例アニメーションを通して学ぶことができます。
- ☆機能⇒ 情報モラル教材・個別学習支援 映像学習・オンラインドリル プリント教材 等



### フィルタリング SolitonDNSGuard

☆安全なICT端末の活用を促進するため、リアルタイムで更新される脅威情報を元に、端末が通信しようとしている宛先が悪性かどうか判断し、危険と判定された場合は通信を自動的にブロックするフィルタリングサービスを導入しています。



### 学びの保障オンライン学習システム MEXCBT



- ☆文部科学省が開発した「デジタル学習システム」です。登録された問題集に自由に取り組むことができます。
- ☆令和6年度より、埼玉県学力・学習状況調査は、本システムを通して、CBT (Computer Based Testing) 形式で、実施されることが決定しており、その際は、MEXCBTを活用することとなります。

## 小学校 のICT支援ツール

※一部抜粋



### コラボノートEX 協働学習・交流学习でコラボノートEX

- ☆ひとつの画面を複数人が同時に協同編集できます。各自の画面を共有したり、互いの画面に書き込んだり、ICTを利用するさまざまな場面で活用できます。



## 中学校 のICT支援ツール

※一部抜粋



### ラインズ eライブラリで個別最適な学びを実現する

- ☆AI型ドリルを中心とした豊富なコンテンツで、主体的な学びを促す学習支援サービスです。
- ☆苦手克服に加え、得意や興味関心に応じて教材をおすすめし、1人1人の学習状況に応じた、個別最適な学びを実現します。



### 正確で早い採点を実現するデジタル採点システム

- ☆紙の答案用紙をスキャナー等で取り込んでデジタル画像化し、採点できるシステムを全中学校に導入します。



## ICT機器の利活用を強力サポート 学校ICT支援員

- ☆令和6年度も、市内全小・中学校に対し、週に1回ずつ、学校ICT支援員を派遣し、ICT機器の利活用を強力にサポートします。
- ☆学校ICT支援員の主な業務は、以下のとおりです。(※一部抜粋)

- 授業支援：教員がICTを活用した授業を行う際に、機器の操作やトラブルの解決などをサポートします。
- 校務支援：学校の事務処理や校務システムの操作を支援します。
- 環境支援：機器やネットワークの設定やメンテナンスを行い、学校内のICT環境を整備します。
- 研修支援：教員向けのICT研修やワークショップを実施し、スキル向上を促します。



# ICTを活用した授業づくり



## 手順1 授業のねらいを明確にして、3つの視点から授業を組み立てる

### 授業の組み立てに必要となる3つの視点

何を学ばせるか

どのような力を身に付けさせるか

どのような学ばせ方が望ましいか

### 上尾市教職員専用 ICT サポートサイト

- 上尾市教職員に割り振られたアカウントでのみ接続ができます。
- 最新情報の提供や、市内小・中学校におけるICT端末等の効果的な活用事例、各種マニュアル・規定などについて掲載しています。
- FAQとともに、サポートデスク機能も設けています。

令和4年7月開設



事前にアンケートをとりたいな。そして、より多くの考えを知る(把握する)方法あるかしら？



授業の組み立て(例)

**導入**  
課題の把握  
学習の見通し

**展開**  
自分で考える  
他者と協働する等

**まとめ**  
学習の振り返り  
学習内容の定着

## 手順2 授業場面に応じたICT活用の検討

◇手順1で組み立てた授業「導入」「展開」「まとめ」における各取組において、授業のねらいを達成するために効果的なICT活用を検討する。



〈ある1時間の学習過程例 ~Google Workspace for Education Fundamentals を活用~〉

(T) 教師 (S) 児童生徒

**導入**  
課題の把握  
学習の見通し

**展開**  
自分で考える  
他者と協働する等

**まとめ**  
学習の振り返り  
学習内容の定着

### 活用例

#### フォーム

Classroomに入る。  
↓  
(T) フォームのリンクを投稿。  
↓  
(S) 本時の課題に関する質問について回答。  
↓  
(T) フォームの結果を全体に提示。

#### ドキュメント

(S) 本時の課題について、自分の考えをドキュメントにまとめる。  
  
インターネット上の資料や教科書の挿絵などを取り込んで、考えの根拠となるものを整理する。

#### Jamboard

(S) 自分の考えをデジタル付箋紙に書き、共有スペースに投稿し、他者の意見と比較する。  
  
(R6.12月まで)

#### スライド

(S) 他者の意見と比較しながら、自分の考えを再考し、スライドにまとめる。

#### スライド

(S) スライドを提示しながら発表し、クラス全体で内容の確認を行う。

#### フォーム

(S) 本時の振り返りを行い、自己評価を記述・回答。  
(T) 定着の見届け実施。

ICTは使うことが目的ではありません。あくまでも授業のねらいを達成するために使用し、活用するものです。

教師が児童生徒の学習状況を適切に把握し、その場で補充学習に繋げることなど、ICT端末を活用するメリットを生かしつつ、これまでの効果的な指導方法と組み合わせ、不易と流行のバランスをとることが大切です。



# あげお 学びのイノベーション



## 2nd GIGA

学びのイノベーション  
次のステージへ...

# 推進プラン

1st  
GIGA期

令和3年度

触れる

目標☞1日に1~2回活用

目標達成!

令和4年度

慣れる

目標☞1日に2~3回活用

目標達成!

令和5年度

活用する

目標☞児童生徒が日常的に活用

目標達成!

令和6年度(今年度)

## 探究する

ステップ①

目標☞1日に3時間以上の授業で活用

授業における「児童生徒同士によるICT端末の活用」促進

「さらなる授業改善」と「デジタル・シティズンシップ教育の充実」

★授業支援システム・学校ICT支援員の有効活用

★望ましいメディアバランスの育成 ★「事例で学ぶ Net モラル」の活用

★「上尾市教職員専用ICTサポートサイト」の活用



## 実践する

ステップ②

目標☞全校全学年でICT端末の家庭への持ち帰りを完全実施 等

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的に充実させた授業の推進」

「家庭学習改革」等

※現時点での推進イメージであり、変更する場合があります。



令和7年度

## 共有する

ステップ③

目標☞授業におけるICT端末の効果的な活用方法を全教員が理解 等

「日常的な授業実践事例のICTサポートサイトでの共有」

「小中一貫教育におけるICTの活用に関する研究推進」等

※現時点での推進イメージであり、変更する場合があります。



令和8年度

- ICT端末・充電保管庫・モバイルルーター・ネットワーク等の設置・整備に関することは、上尾市教育委員会教育総務部教育総務課（775-9469）にお問い合わせください。
- ICT端末の利活用に関すること・学校ICT支援員の派遣に関することは、上尾市教育委員会学校教育部指導課（775-9672）にお問い合わせください。



上尾市教育委員会